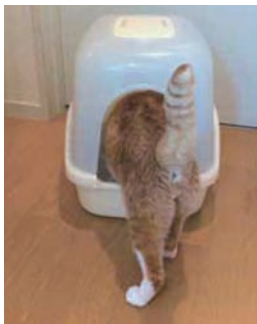


4. 猫のトイレを考える

快適なトイレ



猫は非常にきれい好きで、トイレにこだわりがあります。トイレを教えること自体は、犬に比べてはるかに楽で特に教えなくてもできる猫も多いですが、トイレ環境のわずかな変化にも敏感で、それをきっかけに失敗がおきやすくなることもあります。快適なトイレ環境を用意してあげましょう。

■ トイレを教える

猫は排泄場所を強く意識するので、トイレのしつけを特にしなくても問題なく覚えてくれます。ただ生活パターンや住居、飼い主が変わったりするなどの「環境の変化」にはとても弱く、その際にトイレを失敗するという問題が起きることもあります。そんなときはうまくトイレができた時に、声をかけキャットフードやおいしいおやつを一粒あげて褒めるとよいでしょう。

■ トイレを選ぶ

猫の大きさに対してトイレが小さいとよくありません。トイレの縁に猫が捕まって排泄をしていたり、体がはみ出しているようなら、それは小さすぎることです。十分な大きさのトイレを用意しましょう。猫トイレとして市販されているモノだけではなく、プラスチックの衣装ケースに砂をたっぷり入れてトイレにするなど、工夫してみましょう。また、カバーがついているタイプのトイレは、砂が飛び散らないので人には便利ですが、中に匂いがこもりやすいため、猫にとってはカバーがないトイレの方が快適でしょう。もともと猫は、囲われた場所で排泄をする動物ではありません。



■ 清潔に保つ

こまめに掃除をしましょう。糞は毎回取ります。猫は汚くなったトイレを使わない可能性もあります。カバー付きのトイレは中に匂いがこもりがちなので特にこまめに掃除しましょう。また容器を洗う洗剤を変えただけでも、その洗剤の匂いが原因でトイレを使わなくなる猫もいますので気をつけましょう。

■ トイレ砂

素材や粒の大小などトイレ砂には様々なタイプがあります。掃除のしやすさ・消臭効果といった飼い主の都合と、猫の好みをあわせて、それぞれの家庭に合ったものを実際に使って決めてみましょう。今まで問題なく排泄していたのに、急にトイレを使わなくなったというときは、トイレの砂に問題があることも多いようです。急にトイレ砂をかえると、猫は使わなくなる場合があります。



それぞれの猫に好みもありますが、一般に「荒い砂＝粒が大きい砂」よりも「細かい砂＝粒が小さい砂」が好まれます。猫は排泄をする際に、しっかり足を踏ん張ります。あまりに荒く、足が安定しないような砂だと、排泄しづらいのです。また、排泄の前後、砂を掘って排泄物を埋めたり隠したりするのが猫の習性です。それができるように、トイレ砂は深くたっぷり入れてやりましょう。また「燃やせるゴミで出すもの」と「燃やせないゴミで出すもの」があります。自治体のルールも確認してきちんと始末しましょう。



■ トイレの設置場所

家の中で猫がいつもいるところに近く、猫が行きやすい場所に設置しましょう。リビングルームにいることが多い猫なら、その部屋の片隅がいいでしょう。よくないのは、床面がガタガタと安定しない場所、洗濯機の横など大きな音や振動がある場所、ドアのすぐ近くの場所（急にドアが開くとびっくりする）、寒くて遠い場所（普段はリビングにいる猫のトイレが廊下の奥の洗面所にあると、遠さや寒さが億劫になってトイレに行かなくなる）などです。

■ トイレの数

基本的に、猫のトイレは「頭数+1」と考えて下さい。つまり猫が一頭でも、トイレはふたつ、それぞれ離れた場所に置きましょう。猫の数が増えたら、それだけトイレの数も増やします。設置する場所も十分離します。猫同士の相性が悪い場合、強い猫がトイレのそばにいと、弱い猫は近づくことができません。



■ トイレの失敗をするようになったら

猫がトイレを急に失敗するようになったときには、まず体調を崩していないか考えましょう。猫は他の動物に比べ泌尿器系の病気にかかりやすく、体調の悪化が原因でトイレを失敗している可能性があります。かかりつけの獣医師に相談してみてください。



猫の動作で分かる「トイレの不快感」

～こんな動作が出たら、そのトイレは快適ではありません～

- ①猫がトイレの縁に立って排泄する（狭い）
- ②慌ててトイレから出てくる（汚いので、そこに居たくない）
- ③短時間しかトイレに入らず、あまり掘ったり埋めたりしない（掃除がされていない）
- ④トイレの後、足を振っている（足についた排泄物を振り払っている＝足に排泄物が付いてしまうくらい砂が浅い）